

令和7年度第1回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	令和7年4月8日（火）午前10時から		
開催場所	奈良市役所 中央棟5階 秘書広報課会議室		
出席者	委員長	鈴木副市長	
	委員	真銅副市長 小西総務部長 中岡法令遵守監察監 山口環境部長 下谷都市整備部長 田上建設部長 垣見教育部長	
	事務局	契約課長 補佐	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	道路維持課
議題 又は案件	奈良市包括的道路維持管理業務委託		
決定又は取り纏め事項	採用		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1. 議事の概要

(1) 業務の目的

全国的にインフラの老朽化が進行し各地で道路陥没等様々な問題が発生しているが、本市においても同様の問題を抱えている。

道路管理者としては、道路施設の効用を十分に発揮できるよう維持管理に努めていかなければならないが、インフラの老朽化が進行し、維持管理経費の増大や業務を担う職員の減少等の課題も顕在化しており、このままでは市民等が安全・安心に道路施設を利用できなくなる状況となる。

そこで、民間企業のノウハウや創意工夫を活用し、包括的な維持管理が実現できるよう性能発注の手法を導入することで、業務の効率化を促進し、市民の利便性を向上及び道路施設の安全・安心な利用を図ることを目的とする。

(2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由

当課が従来から発注してきた公共事業は、道路施設の構造、資材、施工方法等について、詳細な仕様を定めて発注（仕様規定型発注）してきたが、令和7年度からは本市の要求する性能を満たし民間企業自らが維持管理の手法を提案し、性能発注の手法を採用することとしているため、通常の価格競争には馴染まないと考え、業務実績や遂行能力など総合的に勘案したうえで、競争入札によらず、企画書の提案やプレゼンテーションの実施による公募型プロポーザル方式を採用しようとするものである。

2. 審議

受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。

3. 結論

プロポーザル方式を採用した。